

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 22-028)

1 日本財団の「ミクロネシア（※3国）海上保安能力強化支援プログラム」は、（※パラオの）海上警備・魚類野生生物保護部（DMSFWP）の職員3名の研修を支援している。巡視船 PSS KEDAM の主機に関する知識と整備技能を習得するため、3名の職員は10月13日からシンガポールにあるエンジンメーカーの研修センターでの研修を受けている。研修を通じて、機関士として故障の原因究明に必要な知識を身につけることが期待されている。これは、KEDAM の運航維持に必要な不可欠であり、パラオ EEZ の監視に直結する非常に重要なものである。日本財団は供与した KEDAM と小型パトロール艇の運航に必要な経費（燃料、整備、衛星通信費）を支援するとともに、乗組員に対する船舶運航・整備に関する研修も提供し、パラオの海の安全に貢献している。研修は11月3日まで実施され、11月7日からは別の3名の職員がエンジンの電気系統に関する研修に参加する予定。

[原文](#)

(21st October 2022, Island Times)

2 米国とミクロネシア連邦（FSM）は、現在米国の国土防衛戦略の一部をなしている、太平洋の同国に軍事施設を設置するという将来の計画について検討を開始した。最近グアムで開催された合同委員会では、防衛拠点ワーキンググループ（Defense Sites Working Group）を創設した。また、同会議ではシップライダー協定の拡大（※SRO News22-026 参照）のほか、米国はFSMでの民間及び軍事インフラプロジェクトを約束した。米国政府が資金提供する主要なプロジェクトの1つにヤップ空港の滑走路の修復があり、米軍が「必要に応じて」使用する予定である。

[原文](#)

(26th October 2022, Pacific Island Times)

[原文](#)（※US looking at military bases for FSM の部分）

(28th October 2022, Radio NZ)

3 韓国・釜山で10月26日、第5回韓国・太平洋島嶼国外相会議が開催され、韓国と14の太平洋島嶼国の外相が気候変動を含む太平洋地域の多様な問題についての協力強化について議論した。韓国外相は参加者を歓迎するとともに、2030年釜山万博の韓国誘致への支持を求めた。

[原文](#)

(26th October 2022, The Korea Times)

4 太平洋国際犯罪ネットワーク警察リーダー会議 (Pacific Transnational Crime Network (PTCN) Police Leaders Conference) がサモアで開催された。このネットワークは2002年に始まり、地域の複数機関の協調によって国際犯罪に効果的に対処するというアプローチをとり発展してきた。複数機関で構成されるチームである太平洋国際犯罪調整センター (PTCCC) はサモアのアピアを拠点としている。ミクロネシア、メラネシア及びポリネシアの太平洋地域の20の加盟国・地域に28の国際犯罪ユニット (TCU) が存在し、国際犯罪を特定・絞り込みPTCCCに報告している。

[原文](#)

(24th October 2022, Talamua Online)

5 アジアとアメリカ大陸の犯罪組織が、太平洋諸島の法執行機関のリソースが限られていることにつけ込み、この地域で麻薬問題が増加している。太平洋地域は、メタンフェタミンやコカインの使用が増加し麻薬売買価格が高い豪州やニュージーランド向けの主要なルートであると言われている。オーストラリア国立大学オーストラリア安全保障カレッジの上級研究員は、主にフィジー、パプアニューギニア、トンガ、マーシャル諸島、北マリアナ諸島において違法活動を活発化させる地元の犯罪ネットワークが形成されていると述べた。米国財務省は、国際犯罪グループは主に東南アジアで麻薬密売、違法カジノ経営、恐喝、人身売買、贈収賄に関与しているが、彼らはパラオにおいても同様の活動に関与していると述べた。国連薬物犯罪事務所 (UNODC) の東南アジア・太平洋地域代表は、この地域が薬物の目的地になっているだけでなく、犯罪者がインターネットや銀行インフラ、脆弱ないし時代遅れである法律を利用して活動できる場所にもなっていると述べた。

[原文](#)

(26th October 2022, Island Business)

6 長年の懸案だった1660万サモア・タラ (※約583万米ドル) のサモア警察アカデミープロジェクトがついに始動した。起工式で、サモアのフィアメ首相と駐サモア中国大使が鍬入れを行った。このプロジェクトは、サモアによる110万サモア・タラ (約38.6万米ドル) のほか中国の支援を受けたもので、サモア警察の建物の機能化と補助施設が盛り込まれており、2024年半ばまでに完了する予定。

[原文](#)

(26th October 2022, Radio NZ)

7 Samoa Shipping Corporation は日本が資金提供した6670万ドルの新旅客フェリーを受け取った。この船は、20年以上にわたってサモアと米領サモアを往来してきたMV Lady Naomiの代替船となり、MV Lady Naomi 60と命名される予定。「60」は、サモアの独立60周年にちなんだものである。

[原文](#) (※Samoa receives new ferry の部分)

(28th October 2022, Radio NZ)

8 アジア開発銀行（ADB）が資金提供するトンガ・ヌクアロファ港クイーン・サロテ国際埠頭の 4500 万ドルの改修工事が開始された。ADB 太平洋局長は、「このプロジェクトは、既存の港湾施設を改善し、港湾業務の安全性と効率性を高め、港湾業務の長期的な商業的持続可能性を促進する上で重要な役割を果たすだろう。」と述べた。

[原文](#)

(28th October 2022, Radio NZ)